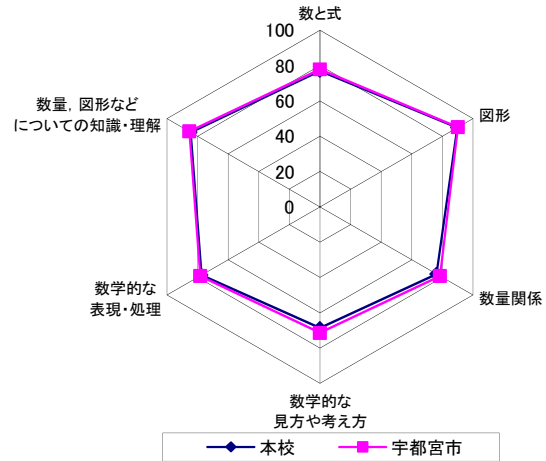


宇都宮市立瑞穂野中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	77.0	77.9
	図形	89.8	90.2
	数量関係	76.3	78.5
観点別	数学的な見方や考え方	68.7	71.3
	数学的な表現・処理	77.4	78.3
	数量、図形などについての知識・理解	84.5	85.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (77.0%)	文字式の計算に関する問題の平均正答率は宇都宮市の平均正答率を上回っているが、数量を表す文字式や不等式、比例式の問題の正答率は宇都宮市の平均正答率より低い。特に方程式の利用に関する問題の平均正答率が53.5%と最も低く、理解が不十分である。	文書を読み取り数字や文字を使って表すことが苦手な傾向があるため、数量の関係を等式や不等式で表現する問題を授業の中で多く取り入れていく必要がある。
図形 (89.8%)	点対称や線対称に関する問題の平均正答率は宇都宮市の平均正答率を上回っている。平面図形に関する問題は定着していると思われる。	点対称な図形について、再度授業で確認する必要がある。点対称や線対称に関する問題は、たくさんの作図を通して反復練習を行った結果、定着したと考えられる。今後も図形の指導については、作図などの操作的活動を重視し、図形概念を養っていくことが大切である。
数量関係 (76.3%)	大部分の問題において宇都宮市の平均正答率よりも低い。特に、反比例の表の問題では、平均正答率が66.2%と最も低く理解が不十分である。	反比例の変化の様子を再度授業で確認する必要がある。変数の間にどのような関係が成り立つと反比例と定義されるのか、理解させることが大切である。